

官民データ活用シナリオ創発プラットフォーム事業

実施地域

神奈川県横浜市

実施団体

株式会社リアライズ

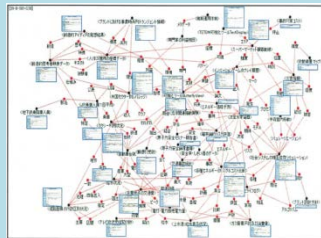
事業概要

横浜市の課題解決及びスマートシティ推進に役立つデータ利活用アイデアおよび課題解決シナリオを組織的・体系的に創発するため、(A)課題・ニーズ起点で官民データの「データジャケット(概要情報)」を登録・利活用するプラットフォームを構築するとともに、(B)そのデータへの可視化ツールの適用やワークショップの運営からなる一連のプロジェクトを実施する。

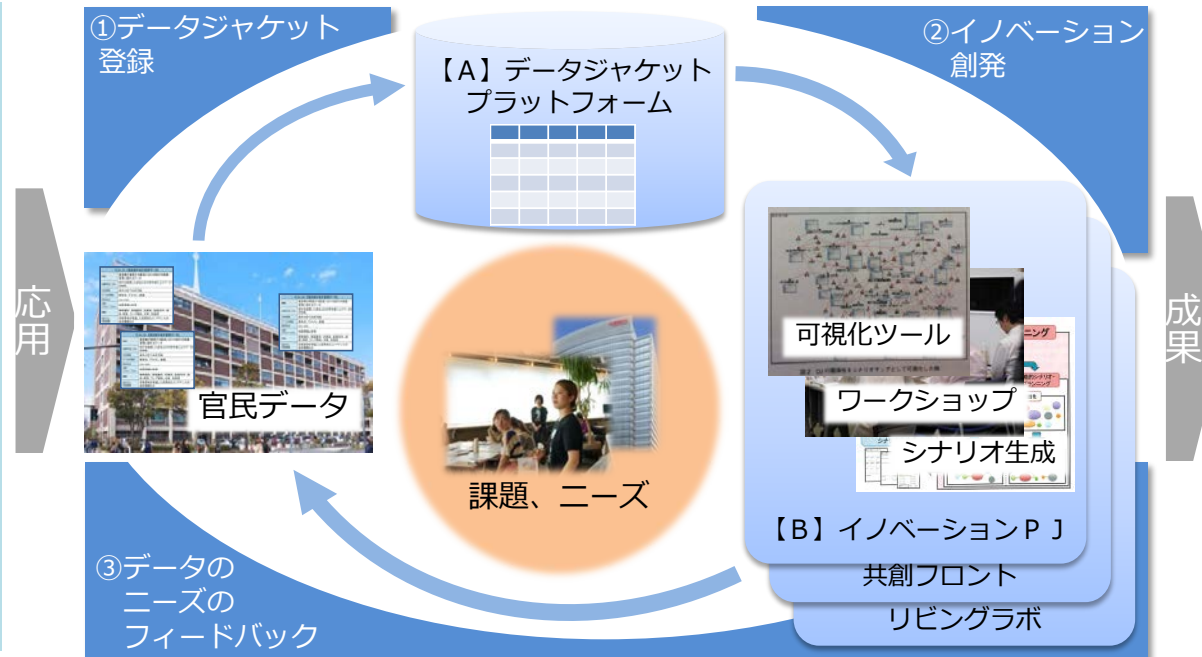
事業コンセプト

「データジャケット手法」(東大・大澤教授)

データセット全体ではなく、データの概要情報と課題・ニーズを組合せて可視化することで、潜在ニーズや解決策を発見する



本事業のフレームワーク



事業のゴール

- 課題・ニーズ起点での官民データ活用に利用可能なデータの概要情報を把握
- 組織的・計画的に官民データ利活用シナリオを創発し、優れたシナリオは実装へとつなげる
- フレームワークの普及を図り、行政機関/自治体間での共有・API連携で、さらに大きなスケールでデータをマッシュアップ